

日本語の音声・音韻の目録

以下は、日本語共通語に標準的に現れると考えられる音声と、解釈作業を経て帰納された音韻の一覧表である。方言や、個人的な差異の詳細にはふれない。音声で、母音などの直前の撥音として実現される鼻母音 [ŋ] [ŋ̃] [ŋ̄] や、非語頭のガ行音・バ行音に現れる [ŋ] [β] も省略した。表中の [ŋ] は撥音の異音のひとつである。半母音音素の /j/ /w/ は、音韻論的には母音と子音の中間的な性質を持っているが、音韻論的には /CV/ の拍では子音音素として、 /CsV/ の拍では拗音音素として機能する。成拍音素については後述するが、これに /l/ (下り二重母音音素) を認める立場もある。 /r/ /d/ /c/ についても後述する (2.3.3. 参照)。なお、表記法として [c] [z] [tc] [dz] が [ʃ] [ʒ] [tʃ] [dʒ] と表記される場合もあるが、IPA ではこれは別の音声を示すことになっているので、ここでは採用しない。

	閉鎖音	無声音 有声音	両唇音	歯茎音	硬歯音 音茎	硬歯蓋音	軟歯蓋音	口蓋垂音	声門音
閉鎖音			p b	t d			k g		
摩擦音			φ	s z	c z	ç			h
破擦音				ts dz	tc dz				
接近音			w			j			
弾き音				r					
鼻音			m	n					ŋ

○音声  
[子音]

[母音]

	母前 音舌	母後 音舌
狭母音	i	u
半広母音	e	o
広母音	a	

[i] [e] [a] [u] : 非円唇母音  
[o] : 円唇母音

○音韻

母音音素 : /i/ /e/ /a/ /o/ /u/  
子音音素 : /k/ /g/ /s/ /z/ /t/ /d/ /n/ /h/ /b/ /p/ /m/ /r/ (/tʃ/ /dʒ/ /c/)  
半母音音素 : /j/ /w/  
成拍音素 : /N/ /o/ /w/

課題

1. 「サ・シ・ス・セ・ソ」 と 「ザ・ジ・ズ・ゼ・ゾ」 をゆっくり発音して、そこに現れる子音がグループ間でどう違うか、観察せよ。特に声帯振動の有無に注意せよ。
2. 「ハ・ヒ・フ・ヘ・ホ」 を、サ行と同じ観点から観察せよ。
3. 「タ・チ・ツ・テ・ト」 をゆっくり発音して、それぞれの子音が同じであるか、観察せよ。調音点と同時に、調音法に注意せよ。
4. 上記の 1.~3. について、音韻論的見地からの解釈を試みよ。
5. 撥音にならって、促音、および長音について、音声学の見地から観察し、音韻論的見地からの解釈を試みよ。
6. 日本語にはないが、英語や他の外国語の発音には出てくる子音や母音をあげて、それらを音声学的に定義してみよ。

2. 3. 日本語の拍

音節・拍

言語音の実質的な最小単位は単音、または、音素であるが、それらが配列

○音声  
[子音]

	閉鎖音	無聲音 有聲音	面唇音	齒莖音	硬齒 口蓋音	硬口蓋音	軟口蓋音	口蓋垂音	聲門音
閉鎖音		無聲音 有聲音	p b	t d		k g			
摩擦音		無聲音 有聲音	φ	s z	c z	ç			h
破擦音		無聲音 有聲音		ts dz	tc dz				
接近音		有聲音	w			j			
弾き音		有聲音		r					
鼻音		有聲音	m	n		ɲ		N	

## Terminologie

ちょうおんてん  
**調音点**

**místo artiklace**

りょうしんおん  
両唇音

bilabiální hláska

はぐきおん  
歯茎音

alveolární hláska

しけいこうこうがいおん  
歯茎硬口蓋音

alveopalatální hláska

こうこうがいおん  
硬口蓋音

palatální hláska

なんこうがいおん  
軟口蓋音

velární hláska

こうがすすいおん  
口蓋垂音

uvulární hláska

せいもんおん  
声門音

glotální hláska

ちょうおんほう  
**調音法**

**způsob artiklace**

へいさおん  
閉鎖音

plozivы (též <sup>はれつおん</sup>破裂音 okluzivы)

まさつおん  
摩擦音

frikativы

はさつおん  
破擦音

afrikáty

せつきんおん  
接近音

aproximanty

ひおん  
弾き音

švih

びおん  
鼻音

nazály